

二酸化炭素消火設備の事故にご注意ください

令和3年4月、東京都の地下駐車場において、二酸化炭素消火設備の消火剤が誤って放出され、死傷者を出す事故が発生しました。

皆さまの建物で同様の事故を起こさないよう、次の事項にご注意ください。

1 工事・メンテナンスを実施するときには

二酸化炭素消火設備又はその付近で工事やメンテナンスを行う場合には

- ① 誤作動や誤放出を防ぐため二酸化炭素消火設備を熟知した**消防設備士や消防設備点検資格者を立ち会わせる**など、作業時の安全を確保する。
- ② 関係者以外の人が入り込まないように管理を徹底する。

2 建物利用者への周知

防火管理者や自衛消防隊員、二酸化炭素消火設備設置場所の利用者等に対して、**二酸化炭素の人体に対する危険性、設備の適正な取扱方法、作動の際の対応方法、避難方法等**について周知する。

3 二酸化炭素消火設備の対応

二酸化炭素消火設備の消火剤が放出された場合には、**すぐに119番通報をして、放出場所に人を立ち入らせない。**

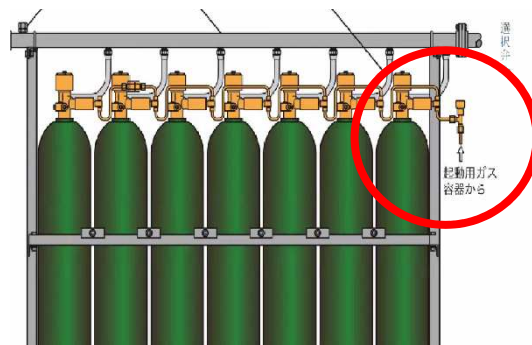
保守等作業前の注意点

二酸化炭素消火設備の防護区域内で作業する場合は、建物の関係者と作業員の双方で必ず閉止弁の閉鎖を確認してください。作業の安全を確保するために、連絡強調を徹底してください

1 起動の切替えスイッチを**手動**にする



2 ボンベ庫内の閉止弁は**【閉】**にする



作業終了後は、**閉止弁等を【開】**の状態にするとともに、二酸化炭素消火設備を**通常時の状態に復旧させ**、建物関係者及び作業員の双方で確認をしてください。

二酸化炭素消火設備についてQ&A

質問	回答
Q1：二酸化炭素消火設備とは、どのような設備ですか？	A：二酸化炭素消火設備は主に窒息消火により火災を鎮火させるための消火設備で、固定式と移動式があります。
Q2：二酸化炭素消火設備は、どのような建物に設置されていますか？	A：二酸化炭素消火設備の特徴として、消火に伴う汚損が少なく、電気絶縁性があることから、一定規模以上の通信機器室、電気室、ボイラー室、駐車場などに設置されています。
Q3：二酸化炭素消火設備の消火剤は、どのようにすると放出されますか？	A：以下の2通りがあります。 ①手動起動装置（操作箱）の手動起動ボタンを押すと放出する場合 ②自動火災報知設備の感知器の作動と連動して放出する場合
Q4：二酸化炭素消火設備が作動した場合、どのような危険がありますか？	A：消火剤である二酸化炭素には毒性（麻酔性）があるため、高濃度の二酸化炭素を人が吸うと即時に意識喪失し、酸素欠乏症に陥り死に至る危険性があります。 なお、安全のため二酸化炭素消火剤の放出前には、音声による警報が行われます。
Q5：主な二酸化炭素消火設備の誤放出の原因はなんですか？	A：二酸化炭素消火設備の手動起動装置の手動起動ボタンを誤って押してしまったために、誤放出してしまったという事故が多く発生しています。

問い合わせ

〒437-0012 静岡県袋井市国本 2907 消防本部予防課予防企画係

電話：0538-44-5114

メールアドレス：shoboyobo@city.fukuroi.shizuoka.jp

袋井消防本部